



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER.2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題
アジア会長主題
東日本区理事主題
あずさ部部長主題
東京西クラブ会長主題

“Yes, we can change 「私たちは変えられる」
“Action” 「アクション」
「為せば、成る」 No challenge No fruits
「未来はそれに備える人のものである」
「入りたいな」と思われる楽しい例会に

2018年8月号
NO 503

2人または3人がわたしの名によって集まるところには、
わたしもその中にいるのである。 マタイによる福音書18章20節



竹内隆さん 追悼

山田利三郎

突然、教友を天国に送る、いや戦友を天国に送る感じで訃報を伺いました。

東京西クラブがチャーターした1976年以来、喜びも苦労も共にしてきた、竹内隆さん。アンチエイジングを掲げ常に新しいことにチャレンジしてこられた竹内隆さん。

チャーターメンバーを募っていた際、札幌の学Y関係者が杉並在住会員に在籍していることを知り、東京YMCA本部から紹介され、欣喜

雀躍ワイズメンズクラブの入会をお薦めしたところ快くお引き受け下さいました。

入会以後杉並YMCAの要職、特に委員長を始め奉仕、活躍の数々は感謝でした。困ったときの竹内隆さん頼みでした。

クラブではブリテンの聖句選定、ブリテンへの投稿、特に健康に関するアンチエイジングの事例等毎月のように連続して投稿して頂き、実際に面と向かってメンバーの数々の質問にお答えお話ししてくださいました。

また、数々の行事での発題、講演も快く引き受けて下さり、他クラブや多くのメンバーに感銘を与えたことは記憶に新しいところです。

長年、東京西クラブの我々は体調が少し悪いと直ぐにルカ病院

へ駆け込み診断をうけ安心したものでした。

個人的な思い出は、1990年アメリカ・ミネアポリスでの59回国際大会参加の折り、アメリカの各地をお嬢様と共に楽しい旅行をともにしたことは忘れられない出来事でした。

公私にわたり大変お世話になりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

東京西クラブのチャーターメンバー・竹内隆さんが7月27日天に召されました。享年91歳11か月。

葬儀礼拝は8月3日、竹内さんが所属する日本基督教団本郷教会で行われました。当クラブからも多数お別れに参列しました。

クラブ役員

会長 本川 悦子
副会長 高嶋美知子
書記 石井 元子
会計 河原崎和美
担当主事 木川 拓

7月の記録		ニコニコ	5,500円
在籍者数 16人 (内功労会員) 1人	メネット 1人	クラブファンド	70円
出席者数 11人	コメント 0人	ファンド残高	151,534円
メーカーシップ 2人	ビジター 7人	ホテ校ファンド	6,000円
出席率 86%	ゲスト 5人	ホテ校残高	31,654円
前月修正 -	出席者合計 24人	WHO参加者	-

8月納涼例会のご案内

今月の強調テーマ： CS

酷暑が続いています。8月例会は暑さを吹き飛ばして英気を蓄え一気にこの1年を乗り切るために、恒例の納涼例会です。今年は瀟洒なレストランから離れてバーベキューパーティーで交流を深めましょう。友人、知人をお誘いしてご参加ください。

日時：8月16日(木) 18:45~21:00
会場：(株)高島 社屋屋上(高嶋美知子さん邸)
(杉並区堀ノ内1-8-9 地図参照)
会費：3,000円(参加者全員)
担当：B班(石井、神谷、河原崎、木川)

HAPPY BIRTHDAY

4日 篠原 文恵 13日 神谷 幸男
15日 本川 章 17日 山田利三郎
18日 河原崎九州男

受付 神谷 幸男
司会 神谷 幸男

竹内隆さん追悼の黙禱

開会点鐘	会長代理	高嶋美知子
(いざ立て) ワイズソング		一 同
聖書朗読・感謝		神谷 幸男
挨拶・ゲスト&ビジター紹介	会長	代理
竹内 隆さんを偲ぶ感話		有 志
諸報告	会長	代理
YMCA 報告	担当主事・	木川 拓
ハッピーバースデー	会長	代理
バーベキューパーティー		一 同
ニコニコ		一 同
閉会点鐘	会長	代理
後片付け		一 同

7月第2例会(事務会)ー

日時：7月26日(木)

19:00~21:00

会場：ウエルファーム杉並 4F

出席者：大野、神谷、河原崎、篠原、高嶋、鳥越、本川、村野、吉田、石井

<報告事項>

- ①7月のデータを確認した。
- ②7月次中間会計報告がなされた。前年度決算報告は、8月事務会で行う予定。
- ③宮崎純担当主事の後任、木川拓さんの入会式を行った。
- ④8月25日(土)に行われるYMCA 夏まつりに提灯1灯を協力し、ラッフル券50枚を完売した。
- ⑤9月23日(日)に行われるチャリティーランのボランティアに神谷、篠原、鳥越、本川、吉田が参加する。
- ⑥新旧書記、会計、ブリテンの引継ぎを行った。

<協議事項>

▲8月納涼例会

バーベキューパーティーとする。参加者を早めに確認する。当番のB班を中心に会場の設営、買い物、会費や会の進め

(株)高島 案内図

JR 中野駅南口から、永福町行きバス・八幡通り下車
JR 他新宿西口から、⑩永福町行きバス・八幡通り下車
京王井の頭線永福町から、新宿西口行きバス・八幡通り下車
東京メトロ丸の内線方南町駅下車 徒歩10分



バス停・八幡通り

方等を検討し、メンバーに協力を要請する。

当日のニコニコは西日本豪雨災害義援金として、寄付を募る。

▲8月第2例会(事務会)

日時：8月23日(木)

19:00~21:00

会場：ウエルファーム杉並 4F

▲9月例会

日時：9月20日(木)

会場：ウエルファーム杉並 4F

卓話：NPO 法人アクセプションズ理事長・古市理代さん
「ボランティアに求められているものは何? ダウン症の

子を持つ親の立場から伝えたいこと」

当番：C班。

▲9月第2例会(事務会)

日時：9月27日(木)

会場：ウエルファーム杉並 4F

8月以降の行事

8月25日(土) YMCA 夏まつり

9月7日(金)~9日(日)

山中湖ユースボランティアリーダーズ・フォーラム

10月20日(土) あずさ部会

(ホスト・甲府21クラブ)
(書記・石井元子)



木川拓さんの入会式・立ち合い人は宮内友弥東日本区理事



明るい口調で卓話する上松ヒカルさん

イタリア人との付き合い方 ー 7月例会報告ー

7月19日(木)、大勢のゲスト、ビジターをお迎えし、開会前から華やかな雰囲気の中で、キックオフ例会が始まりました。

聖書朗読、会長挨拶の後、宮内友弥東日本区理事も立ち会いのもと、新担当主事の木川拓さんの入会式が執り行われました。東京西クラブの平均年齢が少し下がりました。

卓話は約20年前に渡伊、現在イタリア広告代理店にお勤めの上松ヒカルさん、テーマは「イタリア人との付き合い方」。旅人では判らないイタリア人氣質や習慣についてお話し頂きました。

例えば、頼まれて、友人のお嬢さんに部屋を提供し、お世話をしても、その後、友人に会っても「有難う」等の挨拶は全くなく、世話になったのは娘で、出ていく時に本人がお礼を述べているので、それで十分。何時までも子ども扱いない。日本人の感覚としては、最初は驚かれたとのこと。家族の絆が強い国という印象がありましたので、意外でした。日本の常識は伊国の非常識。逆も多く、爆笑と納得、会場の皆さんからの質問も尽きず、時間が足りませんでした。

お隣で夫君の弘樹氏が温かく見守られておいでで、時々、ヒカルさんの確認に答えられたりして、ご夫妻の素敵なイタリア生活を垣間見るようでした。

卓話の前の会食は、特別なデザ

ート付きでした。イタリアにちなみ、吉田明弘さんと村野絢子さんの、「ぜひ”ジェラート”をという思いと努力の賜物でした。とても美味しく、イタリアの香りがしました。(鳥越成代)

出席者:<メンバー>石井、大野、木川、神谷、河原崎、高嶋、鳥越、本川、村野、山田、吉田、<ゲスト>上松ヒカル(卓話)、上松弘樹、青柳、小峰、恒石、<ビジター>麻生・宮内・大輪(東京武蔵野多摩)、小口・長谷川・福田(東京八王子)、藤江(東京たんぽぽ)、<MU>篠原(6月役員会)

YMCA Today

○東京 YMCA 国際ホテル専門学校は、7月6日に1学期が終了しました。

夏期休暇中にはホテル科1年生が北海道や沖縄などリゾート実習として84人、北米研修には9人が自身の経験値向上を目的に参加いたします。新学期は9月3日スタート! 成長した姿に会えるのが今から楽しみです。

○YMCA の誕生日である6月6日に、世界のYMCAで1つのアクションを起こす「ワールド・チャレンジ」が今年も実施。今年のテーマは"Run to the YMCA World"。総計が世界中のYMCAを繋いだ距離およそ12万kmに届くことに挑戦しました。

日本全国のYMCAでは、ユースが中心となり、6月2日~15日の実施期間を設け、東京からジュネーブ(スイス)までの9,600

kmを目標に取り組みました。東京YMCAでは、インターナショナルスクール(TYIS)など、主に子供たちが歩いた距離を集計して参加しました。

○山手会館は耐震補強工事と館内リニューアルのため、7月中旬から段階的に改修工事を実施します。地下プールは7月中旬から8月下旬まで工事が入り、9月に再開予定。国際ホテル専門学校、高等学院、山手コミュニティーセンター主催の各種活動、山手学舎は、9月から2019年3月まで、それぞれの移転先で事業を継続します。

(担当主事 木川 拓)

西日本豪雨災害に心を寄せて募金しましょう。

(クラブYMCAサービス担当・神谷幸男)

☆☆ インタビュー ☆☆ 池谷 淳さんに聴く

* * *

池谷淳さんは、下田クラブの初代会長です。



—池谷さんは、下田クラブの初代会長ですね。

「ええ、クラブの設立経緯は、少々変わっています。1970年、当時は下田には青年会議所（JC）がありませんでした。設立要請が、伊東青年会議所の役員からありました。その中に伊東クラブのメンバーがおられ、JCに7、8年遅れて青少年運動としてのワイズメンズクラブ作りが始まったのです。1979年にクラブ設立。翌80年6月に国際協会の加盟認証を受け、チャーターナイトの準備を始めました。ところが7月に」

—伊豆大島沖地震ですね。

「被災し、その後も群発地震があつて、観光地でもある下田は甚大な打撃を受け、とてもお祝いどころではなくなりました。私は市議でしたが、毎日、港に行き、船で避難してくる人たちを受け入れる仕事をしていました」

—チャーターナイトは延期されましたね。

「当時、災害被害についての認識が今よりも浅く、区役員会で藤間隆夫部長（熱海）が事情報告で苦勞されていました」

—そうでしたか。

「それでも約1年遅れて、1981年6月21日にチャーターナイトを行いました。会員36人でした」

—池谷さんは、ワイズやYMCAと接点があったのですか。

「仕事の関係、JCとの関係で、

熱海や伊東クラブには知人がいました。YMCAは、学生時代に神田にあったYMCA会館の前を通り過ぎた程度でした」

—池谷さんの政治への関心は。

「昭和27年、旧制下田豆陽中学2年の時、クビになった教職員組合の組合長の先生を復職させるためにストライキを打ち、約半年、学校当局と対峙しました。その中で全学連にも世話になり、政治に対する自分の触手が大きくなりました。その中学から8人が東大に在学していて、彼らは戦時中、陸士や海兵を志願しましたが、それに反対した先生を尊敬していて、私たちを指導してくれました」

—元々、下田のお生まれですか。

「伊東で生まれ3歳で下田の蓮台寺に移住しました」

—下田市市議を4期13年された。

「ええ、地方都市をもっと良くしたいという夢がありました。地方自治の勉強のため、固有な街づくりをしている都市を訪ね、市長に面談し、勉強を続ける修行の旅でした」

—市長には。

「1984年に立候補して、現職に僅差で当選しました、4期12年務めました」

—議会運営でのご苦勞は。

「最初は、議会内での私を支持する議員は20%くらい。助役、収入役を推薦してもなかなか承認されませんでした。組織は、職務権限を委譲していますから、その決済が滞ります。朝早く市役所に出勤し、助役の決済をしてから市長決済をするのが1日の仕事でした、2年半やりました。おかげで、市の仕事は隅々まで分かるようになりました」

—市政に携わって感じたことは。

「地域が生きる術は、地域で生きた先人の知恵の中に常に内包されているのですね。土地の持つ古いしきたりや古くからの手順を見失わず、繰り返し継続してい

くことで、道が拓けるものですね。羅針盤は市民の率直な要求に耳を傾けて対応することです。街づくりとは、住む人が気持ち良く生きられる場所づくりです」

—下田は黒船来航の地ですね。

「市長時代に、ペリー提督の誕生地、アメリカのニューポート市と姉妹都市を締結して60年になります。ニューポートでも黒船祭りを始めて35年。日本と米国で『黒船祭り』を行い、中学生を含めた市民交流が見事に定着しています。600人を超す市民の交流が続いています」

—下田クラブは、竹を切り出して「募心筒」と「足踏み器」を作り、全国のワイズメンに送る等、独自の活動を行っていましたが、何と云っても黒船祭の華となった「日米筏乗り競漕」はスケールの大きい地域奉仕事業でしたね。

「下田の町を稲生沢川の清流が下り湾に注ぎます。故郷の川の歴史と存在を子どもたちに記憶させるために筏競漕を企画しました。集落で筏の選抜代表を選出し、中学生や自衛隊、米国海軍の水兵も参加してもらい、各チーム、竹を縛って筏を作り、1チーム3人で漕ぎます。下田湾で繰り広げられ、黒船祭の人気イベントとなりました。しかし、安全確保など、メンバーの負担も大きく、竹の切り出しも困難になってきました。惜しむ声もありました。こういうことは、仕掛けた者が決断しなければやめられないと、私が決断しました。代わりの事業として、子どもたちを禅寺に集めて座禅教室を続けています」

—ワイズに期待されることは。

「若い人の集まらないクラブは活力に欠けます。夢を持ち、少しでも前向きな行動を重ねていきたい。行動力が不足がちです。努力して若い人たちを集めてみたいですね」

—ありがとうございました。

（吉田明弘）